

「当院における分娩時貯血式自己血輸血の検討」に関する研究

1. 研究の対象

2009 年から 2013 年までの間に防衛医科大学校病院産科婦人科で分娩された方のうち、分娩時に大量出血が予想されたため自己血貯血を行った方。

2. 研究目的・方法

自己血貯血を行った方の分娩時出血量と貯血返血率や有害事象を検討し、どのような疾患や患者さんの特徴があると自己血貯血が有効に使用できたのかを検討する研究です。本研究は、今後、研究のために患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることはなく、これまでの外来及び入院治療での診療録情報（カルテ）や手術時の情報を用いる後方視的研究です。研究期間は平成 30 年 4 月 1 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記録、分娩記録、カルテ番号 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：講師 宮本守員